

提出日：平成 28 年 5 月 14 日

平成 27 年度 大阪大学蛋白質研究所 拠点事業

(2) 研究成果の概要

課題名	微生物由来ジペプチジルアミノペプチダーゼの構造機能相関		
研究代表者	氏名	阪本泰光	
	所属機関名・部局名	岩手医科大学・薬学部	
	職名	助教	
事業名 (該当の事業名の右欄に○)	<input type="radio"/>	共同研究員	
	<input type="radio"/>	国際共同研究課題	
	<input type="radio"/>	超高磁場NMR 共同利用研究課題	
	<input type="radio"/>	客員フェロー	
蛋白研受入担当教員名	中川敦史（超分子構造解析学研究室）		
<p>超分子構造解析学研究室にて、結晶化条件の探索と最適化を実施し、蛋白質研究所生体超分子複合体構造解析ビームラインにおいて回折強度測定実験を実施した。本研究では、昨年度までにヒドロキシプロリンを含むジペプチド(Pro-Hyp)の共結晶が得られ、その結晶から 2.6Å 分解能の回折強度データの収集に成功したが分解能が低いため、S1 ポケットへの結合がわかる程度で、その向きや配置については確定できていなかった。今年度は、高分解能での解析を目指して結晶化の改善を試みていたが、結晶の再現性が悪く、回折強度データを収集したものの、高分解能での解析には至らなかった。共同研究者が DLS 及びクロマトグラフィによりサンプルのロット間の評価を行ったところ、精製条件の違いが結晶化に影響を及ぼしていることが示唆された。次年度以降に、精製条件を改善することで結晶化の再現性向上と高分解能での構造解析を進めることとした。</p>			

※本様式は、“拠点事業成果報告”として、拠点ホームページにて公開させていただく予定です。

※必ず A4 用紙 1 枚におさめて下さい。 ※提出期限：平成 28 年 5 月 20 日（金） ※提出の際は PDF 変換して下さい。

※提出先：大阪大学蛋白質研究所拠点プロジェクト班 E-mail: tanpakuken-kyoten@office.osaka-u.ac.jp